

第 350 回金沢眼科集談会 プログラム

日 時 令和 5 年 4 月 16 日（日）10:00～13:00

会 場 ホテル日航金沢

金沢市本町 2-15-1 電話:076-234-1111

※今回は現地開催のみの予定です

【参加方法】

- ・ 事前登録の必要はございません。
 - ・ 参加費は 2,000 円です。
- 当日会場にて現金でのお支払いをお願い致します。

【取得単位について】

- ・ 本会は専門医制度生涯教育事業（No.59003）として認定されており、参加者は 1.5 単位を取得できます。
- ・ コロナ感染防止のため、広い会場を準備しています。
- ・ 当日会場で参加される場合はマスクの着用をお願い致します。

— 次回ご案内 —

令和 5 年 12 月 10 日（日）10:00～13:00 ホテル金沢にて開催の予定です。

共催：金沢眼科集談会 参天製薬株式会社

特別講演 1

10 : 00 ~ 11 : 00 座長 : ^{ひがしでともみ}東出朋巳 (金沢大)

「内境界膜剥離術の進化」

横浜市立大学大学院 視覚再生外科 教授

^{かどのそのかずあき}
門之園一明 先生

黄斑疾患の多くは黄斑部網膜への前後方向の牽引による影響を受けている。牽引の除去、網膜の進展を目的とした内境界膜剥離は、合理的であり長期的な合併症も存在しない。このため、黄斑疾患＝内境界膜剥離と言っても過言ではない。緑内障に対する特別な対応もあるものの、一般的に、染色により内境界膜剥離は安全かつ効率的に行われる。特に、特発性黄斑円孔はほぼ 100%近い円孔閉鎖を得ている。また、分層黄斑円孔の内境界膜剥離は難解である。上膜増殖 (epiretinal membrane proliferation) が存在することが理由である。

近年、デジタル技術によるアルゴリズムを用いて、内境界膜の視認性を上げるイノベーションも開発されている。一方、近視性牽引性黄斑症は、この類にならない。28 mmを超える長い眼軸長は手術操作をとっても難解にする。また、脆弱な網膜組織は、手術侵襲や網膜光障害を被りやすい。このため、近視性黄斑症の膜剥離をより容易にする手術手技はいくつか考案されており、本疾患の病態生理と合わせて報告をする。

本講演では、内境界膜剥離の臨床的意義および手技を解説する予定である。

特別講演 2

11:00~12:00 座長：^{すぎやまかずひさ}杉山和久（金沢大）

「角膜疾患の診療エッセンス —ドライアイを含めて—、そして雑談」

京都府立医科大学感覚器未来医療学 教授

^{きのした} ^{しげる}
木下 茂 先生

日常診療で角膜疾患に遭遇した場合、information（疾患全般に対する知識）、inspection（スリットランプ検査を中心とした視診）、imagination（疾患病態を自分なりに想定する）という 3i を大切にされた論理的思考が重要である。Imagination では必ずしも正しい疾患名に辿りつく必要はない。疾患病態を自分なりに想定していれば、治療による経過とともに所見が変化していくなかで、万が一異なった疾患を想定していても間違いには早く気づくはずである。

さて、ocular surface 疾患であれば、感染性、感染アレルギー、そして非感染性のどのカテゴリーの疾患であるかをまず推測する。感染性疾患であれば、細菌、真菌、ウイルス、寄生虫などのいずれかをスリットランプ所見と病歴や年齢などを加味して想定する。感染アレルギーであれば常在細菌叢の Cutibacterium acnes やブドウ球菌属さらには単純ヘルペスウイルスなどが関与した病態を疑う。非感染性疾患では、薬剤毒性、ドライアイ、マイボーム腺機能不全、アレルギーなどを鑑別していく。重症例としては周辺部角膜潰瘍、瘢痕性角結膜疾患、腫瘍性病変などもある。これらの疾患の診療には、3i の考えに基づいた保存的治療と外科的治療の選択が必要である。

角膜の外科的治療は大きな変革期を迎えつつある。角膜内皮疾患に対しては DSAEK、DMEK、細胞注入などに代表される角膜内皮移植の台頭であり、円錐角膜に対してはクロスリンクングや角膜内リングそしてボウマン膜移植の登場である。角膜再移植の課題も克服されつつある。克服されていないのは、緑内障への角膜移植の長期成績が担保しにくいことである。今回の講演は、極めて雑駁ではあるが、これらの内容について私の考え方を要約してみる。

一般講演

(12:00~12:30) 座長 こばやしあきら 小林 顕 (金沢大)

1. 角膜形状異常がきっかけとなり発見された眼瞼結膜腫瘤の1例

すずきとしや
○鈴木俊也, 小林顕, 横川英明, 高比良雅之, 杉山和久 (金沢大)

2. 感染性角膜炎診療における高次収差の解析

あべゆうき
○阿部優樹, 松村健大, 山口剛史, 高村佳弘, 稲谷大 (福井大)

3. COVID-19 感染を契機に発症したと考えられる網膜微小血管障害の2例

かたやまのりこ
○片山法子, 赤井亮太, 柳沢秀一郎, 林 篤志 (富山大)

(12:30~13:00) 座長 たかひらまさゆき 高比良雅之 (金沢大)

4. 濾過手術後に発症した網膜剥離に対して硝子体手術を行った症例の検討

こまたゆうき
○小又優樹, 東出朋巳, 奥田徹彦, 西村俊亮, 杉山和久 (金沢大)

5. 涙腺に生じた原発性印環細胞癌の1例

みなみたかひろ
○南 昂宏¹⁾, 山田祐太郎¹⁾, 高比良雅之¹⁾, 濱岡祥子¹⁾²⁾, 杉山和久¹⁾

1) 金沢大 2) やわたメディカルセンター眼科

6. 水晶体の糖化・熱ストレスによる水晶体弾力性変化の測定

しばたてっぺい
○柴田哲平, 生駒透, 佐々木洋, 久保江理 (金沢医大)